

## MENU

メルマガ・アーカイブ

医業経営セミナー紹介

会計事務所紹介

リース会社紹介

保険相談 Q &amp; A

保険のご質問・ご相談はこちら

資産運用のご質問・ご相談はこちら

アドバイスを受けながら手数料なしのファンドが選べる楽天証券の口座開設はこちら

会計事務所のご質問・ご相談はこちら

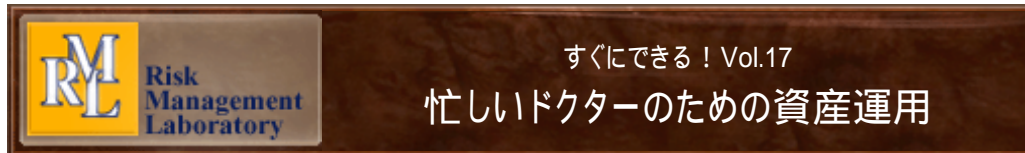


## メールマガジンアーカイブ

2008/7/24 井上さん、ついに投資家になる！！(4)

メルマガアーカイブTOPに戻る

リスクマネジメントラボラトリーのHPへ



～ 井上さん、ついに投資家になる！！(4)～

こんにちは、リスクマネジメント・ラボラトリー 代表の中澤です。

このシリーズでは積立投資についてRML社のスタッフの例を対談形式でお伝えしたいと思います。

36歳女性・RML社IT戦略室の井上が、将来の為に資産運用をどうすればよいか？（まったくの素人）相談を始めました。。。



[前回のコラム「井上さん、ついに投資家になる！！\(3\)」バックナンバーへリンク](#)

井上さんの投資の現状(2008年6月末)

	累計投資額	現在の評価額	評価損益	評価損益率
2008年6月末	2,100,000	1,853,005	-246,995	-11.76%

毎月の積立	1,000,000	2007年9月から毎月10万円。累計投資月数10ヶ月。
2008年2月	500,000	毎月積立している4種類のファンドを追加購入。
2008年4月	600,000	数年で解約する可能性もある資金なので海外債券ファンドを購入。

- 後日 -

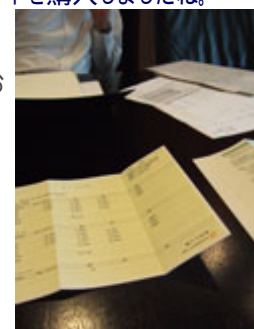
**中澤** 前回のレビューの後、4月に通常の毎月10万円のほかにスポットで債券ファンドを購入しましたね。

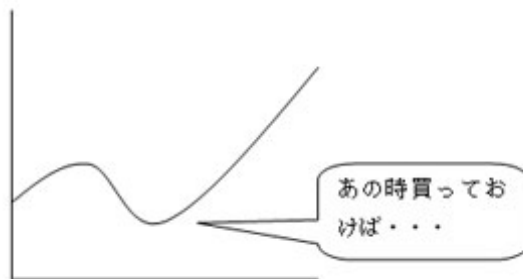
**井上** はい。4月のレビューの時に『今すぐに使うわけではないけど、もしかしたら数年で解約するかもしれないような資金の場合は債券(ファンド)を利用しては?』、とのお話がありましたよね。今後のライフプランを考え購入しました。

**中澤** スタートして10ヶ月たちました。先月末現在の井上さんの投資の状況をご覧になってどうですか？

**井上** 少しマイナスですが長期の積立投資ですし、逆にこのように株価が安いときに沢山買えるのですから、かえて良いのではと思っています。

**中澤** そのとおりです。投資信託や株式・為替など、後で『あの時買っていればなあ』、と思うことはよくあります。でも『あの時』は値下がりしていて、世の中のムードもよくない。新聞やニュースでもっと下がると報道しているような時です。そのような時に値下がりしているものを追加購入するのはとても勇気がいりますよね。





**井上** でも私の場合は銀行から毎月引き落とされて少しずつですが勝手に追加購入しているので気分的にもあまり気にならないですね。

**中澤** 実は値下がりしている局面でも自信を持って追加購入するための条件があります。

**井上** 情報収集をして値上がりしそうな時期を予想することですか？きっとプロはそうしているんでしょうね。

**中澤** 確かに『そろそろ反発する時期だ』、ということが予想できればそれに越したことはありませんが、現実問題としては難しいと思いませんか？

常識的に考えて反発時期を的中させることが出来るなら暴落も予想できるはずですよ。

世界中の多くの一流といわれている金融機関がサブプライムローンの証券化商品を買って大損をしています。シニカルに言えば、そんなところの予想を当てにすることのほうが間違っていると思いませんか？

**井上** そう言われると何を信じて良いかわからなくなりますね。

**中澤** 実はそんなに複雑なことではないんですよ。井上さんはどのような商品を購入していますか？

**井上** 投資信託です。

**中澤** そのとおりです。投資信託を利用すること、つまり世界中に幅広く分散投資をすることで値下がりしている局面でも安心して追加購入ができるのです。

もし仮に、個別の株式や特定の為替などと時間をかけたとしても将来回復するとは限りません。

何年か前のライブドアのことを思い出してください。

不正決算で株価は大きく値下がりしましたが、そこで追加購入していたら損失をさらに増大させてしまったでしょう。

一方、投資信託を利用し世界中の何千の企業の株式を保有している場合、その全ての会社が一時に破綻することは事実上ありえないでしょう。

投資信託を利用することで誰でも簡単に、しかも少額から世界中に分散投資をすることができるのです。

これにより、景気の景況や戦争やバブルの崩壊といったような株価の値下がりがあっても、値動きと時間さえ我慢できればそんなに心配することはないんです。

**井上** なるほど。だから分散投資なんですね。

	20%	10%	50%	20%	100%		100%
	日本大型株ファンド	日本小型株ファンド	海外株式ファンド	アジア株式ファンド	ポートフォリオの推移		国際分散型バランスファンド
2007年9月	200,000	100,000	500,000	200,000	1,000,000		1,000,000
2007年12月	182,545	90,123	481,786	190,686	945,141		954,015
2008年3月	150,988	68,768	380,832	137,950	738,538		819,982
2008年6月	164,223	71,114	396,005	136,826	768,168		849,220

上記表は、2007年9月末に上記配分で100万円の投資を開始したとして、その後の基準月末の各ファンドの基準価額等および投資ポートフォリオの推移を表したもので当コラムを理解するための手助けを目的として作成をしています。月次の積立や追加の購入は反映していません。

【投資信託の手数料について】

・保有にかかわる信託報酬については控除後です。

・購入時手数料については考慮していません。

・分配金が出た場合は非課税で再投資をするものとします。

以上のような理由によりコラムの内容および実際の投資成果とは異なります。データについては信頼できるものを利用してありますが正確性を保証するものではありません。


上記表は株式市場の変動やその推移が実際の商品や資産形成に与える影響を擬似的に体験するためのもので、この表をもって特定の商品を推奨するものではありません。また、採用している投資信託は元本を保証するものではありませんので解約時期によっては元本割れをする場合があります。このコラムは2008年7月9日に行われた面談をもとに書かれています。

コラムでは株式のみのポートフォリオを採用しているため、参考までに債券が含まれた国際分散型バランスファンドのデータも併記しています。

#### 国際分散型バランスファンドの基本資産配分

日本大型株式: 23%  
日本小型株式: 10%  
米国株式: 15%  
欧州株式: 13%  
アジア太平洋株式: 4%  
日本債券: 17%  
海外債券: 18%

投資についての疑問、質問等はまずはお気軽にメールにてご相談ください。メールにて対応させていただきます。

 積立投資について、相談したい

是非、コンシェルジュにご相談ください!

[▲ PAGE TOP](#)